



● 伊陸地区 (人口5,655人)
市北部の盆地にある地区。朝晩の気温差が大きく、「伊陸米」の産地として有名である。県道、農道沿いには朝市が立ち並び、日曜を中心に多くの客が訪れる。4月3日直前の日曜には伊陸天神祭(通称「牛天神」)が催される。



● 日積地区 (人口1,373人)
市北東部の山間部にある地区。ぶどうの産地として知られ、8月中旬から9月中旬にかけて、昔ながらの味が楽しめる。9月1日直前の土曜には、大帯姫八幡宮境内で「八幡踊り」が催される。



● 大島地区 (人口2,749人)
市東部の海岸線沿いにある地区で、大島大橋の架かる大島瀬戸は日本三大潮流のひとつに数えられている。幕末に活躍した僧月性で有名である。旧暦8月23日に行われる俄祭り、海に御輿ごと入るもみあう勇壮な祭りである。



● 伊保庄地区 (人口2,811人)
市南部の室津半島にある地区。サザンセト伊保庄マリパークは夏の海水浴シーズンを中心に一年中訪れる客が多い。4月には柳井南小学校同窓で「いほのしょう春まつり」が開催されている。



● 柳井地区 (人口16,067人)
市中心部で、白壁の続く町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、文化財が集中している。柳井地区にはダムが集中し、柳井の水がめとしての役割を担っている。柳井港のある柳東地区には国史跡の茶臼山古墳があり、琴石山は多くの登山客が訪れる景勝地である。4月25日直前の日曜には柳井天神まつり、8月13日には金魚ちょうちん祭り、11月23日には柳井まつりが開催される。



● 阿月地区 (人口673人)
市南部、室津半島南部にある地区で、明治維新に参画した人材を輩出した場所として知られる。2月11日の阿月神明祭は勇壮な火祭り、国の重要無形民俗文化財に指定されている。



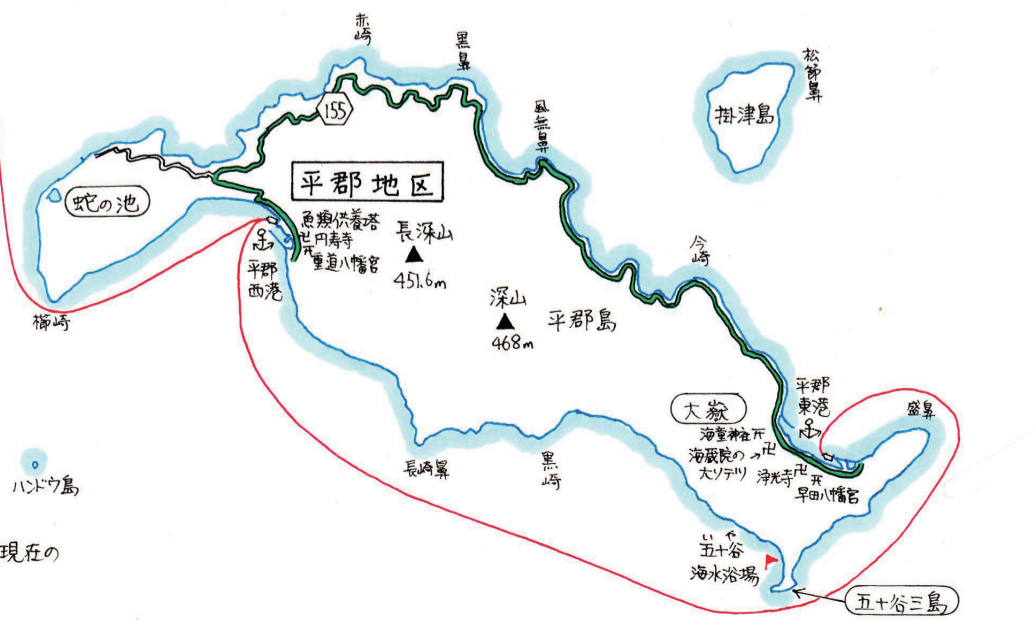
● 余田地区 (人口1,490人)
市西部にある田園地帯。地区南部にある余田臥龍梅は国の天然記念物に指定されており、地区住民による維持が行われている。4月はじめの名合八幡宮春祭りにあわせ、「余田まつり」が開催されている。



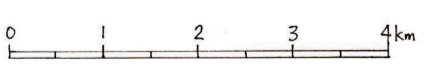
● 新庄地区 (人口4,432人)
市西部にある田園地帯と住宅地が混在している地区で、北部には柳井ウェルネスパークやササキフラワーランドがある。17世紀に若政次郎右衛門門によってつくられた長溝は地区のシンボルで、8月19日に長溝祭が行われている。



● 平郡地区 (人口281人)
県内最大の有人離島で、みかん、タコ、ウシヅビの産地として知られる。一帯は好漁場で、県内外から多くの釣り客が訪れる。



「この地図は、柳井市長の承認を得て平成9年3月、平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)」



2020.5修正

柳井お宝マップ
制作 豊笑家倶楽部 2006.2

地区別の人口は、2020(令和2)年4月30日現在の住民基本台帳人口。